

警察本部

令和6年度当初予算のポイント・主要事業

1 予算調製にあたっての基本的な考え方

令和6年中の県警察の運営重点は

- ① 子供・女性等を守る取組と犯罪対策の推進
- ② 犯罪の早期検挙に向けた総合力による捜査の推進
- ③ 総合的な交通事故抑止対策の推進
- ④ テロの未然防止と大規模災害等緊急事態対策の推進
- ⑤ サイバー空間の脅威に対処するための取組の推進
- ⑥ 犯罪被害者等支援の推進

とし、これらに必要な予算を調製しました。

2 主な重点項目

【警察本部 222-0110】

(1) みんなで進める犯罪防止に向けた取組の推進

- ① (一部新) 特殊詐欺被害防止対策事業 12,484千円

[生活安全企画課]

特殊詐欺の被害防止を図るため、広報啓発活動や講話、寸劇等を通して特殊詐欺の手口や危険性を正しく理解してもらうとともに、防犯機能付き電話機の体験用資機材の活用や自動通話録音警告機貸与事業の拡充を図るなど、防犯機能付き電話機等の設置促進に取り組めます。

- ② (一部新) 少年警察事業 29,598千円

[少年課・人身安全対策課]

虐待等を受ける危険性のある母子への支援のため、緊急通報装置の貸出を実施するほか、被害聴取における子どもの心理的負担の軽減等のための司法面接に関し、職員に対する研修を実施します。また、SNS等に起因する犯罪被害の実態や危険性、被害防止対策を周知するため、広報啓発に取り組めます。

- ③ (新) テロ等対策事業 (第44回全国豊かな海づくり大会開催に伴う警備) 7,339千円

<事業実施期間：令和6年度～令和7年度>

[警備第二課]

令和7年に第44回全国豊かな海づくり大会が開催されるため、警備に必要な諸準備を進めます。

(2) 犯罪の早期検挙のための活動強化

- (新) 情報技術解析推進事業 75,528千円

[サイバー犯罪対策課]

情報技術解析能力の向上、犯罪の早期検挙のため、情報技術の解析に用いる高度な解析用資機材の新規導入に取り組めます。

(3) 警察活動を支える基盤の強化

①捜査支援システム整備事業 116,004千円

[捜査支援分析課]

捜査支援分析力を強化するため、被疑者の早期検挙や追跡捜査に有効な車両捜査支援システムの拡充に取り組みます。

②警察署庁舎整備事業 3,548,028千円

[会計課]

老朽化や狭隘化した警察署を計画的に整備するとともに、令和5年度に引き続き、大台警察署の建築工事、尾鷲警察署の改修工事等を進めるほか、伊賀警察署の建替整備に伴う移転用地の取得に取り組みます。

③庁舎等施設整備事業（科学捜査研究所整備事業） 88,702千円

[会計課・刑事企画課]

緻密かつ効率的な鑑定を可能とする科学捜査研究所の独立庁舎整備に向け、建築工事に着工します。

④警察官駐在所等整備事業 211,353千円

[会計課・地域課]

交番1施設、駐在所3施設の建替整備を進めるほか、施設の長寿命化に向けた調査や駐在所2施設の改修工事に取り組みます。

(4) 交通安全対策の推進

①交通安全施設整備事業 2,643,280千円

[交通規制課]

令和10年3月末で生産終了となる信号灯器用電球（白熱球）のLED化を前倒しで進めます。また、老朽化した信号制御機、摩耗した横断歩道などの交通安全施設等の更新・整備を行うとともに、道路交通環境の変化等により実態に合わなくなった交通規制の見直しに取り組みます。

②（新）交通警察費（AIを活用した交通事故の発生予測に基づく事故防止対策推進事業） 3,500千円

<事業実施期間：令和6年度～令和8年度>

[交通企画課]

AIが事故発生予測を行う「事故発生リスクAIアセスメント」サービスを導入し、AIが瞬時に抽出した顕在的、潜在的な事故発生予測を活用するとともに、従来の事故分析の精度を上げ、より効果的な事故防止対策に繋がります。

みんなで進める犯罪防止に向けた取組の推進

特殊詐欺の被害防止【重点取組等】

約1,200万円

特殊詐欺の被害防止を図るため、広報啓発活動や講話、寸劇等を通して、特殊詐欺の手口や危険性を正しく理解してもらうとともに、防犯機能付き電話機の体験用資機材の活用や自動通話録音警告機貸与事業の拡充を図るなど、防犯機能付き電話機等の設置促進に取り組みます。

高齢者の心に響く被害防止対策の推進

体験用資機材の活用状況



少年警察活動の推進【一部新規】

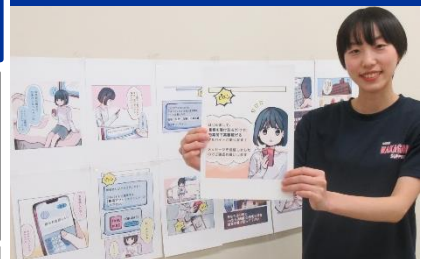
【子どもを守る取組等】

約3,000万円

虐待等を受ける危険性のある母子への支援のため、緊急通報装置の貸出を実施するほか、被害聴取における子どもの心理的負担の軽減等のための司法面接に関し、職員に対する研修を実施します。

子どもを守る取組 約400万円

危険性を訴える広報の推進



SNS等に起因する犯罪被害の実態や危険性、被害防止対策を周知するため、広報啓発に取り組みます。

犯罪実行者募集情報【闇バイト】
に手を出させない

テロの未然防止【新規事業】

【第44回全国豊かな海づくり大会開催に伴う警備】

約700万円

令和7年に第44回全国豊かな海づくり大会が開催されるため、警備に必要な諸準備を進めます。

行事開催に向けた警備諸対策の推進

警備諸対策の推進



第42回全国豊かな海づくり大会【北海道】

犯罪の早期検挙のための活動強化

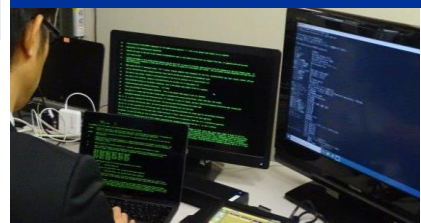
情報技術解析の強化【新規事業】

約7,600万円

犯罪の早期検挙のため、情報技術の解析に用いる高度な解析用資機材の新規導入に取り組みます。

先端技術の導入による情報技術解析能力の向上

情報技術解析の状況



警察活動を支える基盤の強化

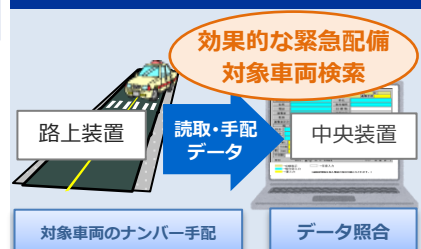
捜査支援分析力の強化

約1億1,600万円

捜査支援分析力を強化するため、被疑者の早期検挙や追跡捜査に有効な車両捜査支援システムの拡充に取り組みます。

システムの整備台数を大幅に増強

車両捜査支援システムの拡充



警察活動を支える基盤の強化【警察署庁舎等の施設整備】

警察署	約35億4,800万円
大台警察署 建築工事等	約21億6,700万円
尾鷲警察署 改修工事等	約9億8,900万円
伊賀警察署 移転用地取得等	約3億9,200万円



科学捜査研究所	約8,900万円
---------	----------

緻密かつ効率的な鑑定を可能とする科学捜査研究所の独立庁舎整備に向け、建築工事に着工します。



交番・駐在所	約2億1,100万円
--------	------------

鳥羽駅前交番の建替整備に際し、施設のZEB化を図ります。駐在所の建替整備（3施設）、長寿命化（2施設）に取り組めます。

交通安全対策の推進

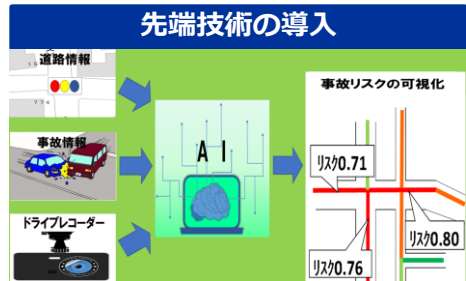
交通安全施設等の整備	約26億4,300万円
信号灯器等	約17億4,000万円
信号灯器のLED化、信号制御機の更新を行います。	
信号灯器LED化【前年度比2,564灯増】車両用1,800灯、歩行者用1,200灯	
横断歩道等	約5億円
横断歩道、停止線、止まれ文字等の塗り替えを行います。	
路側式道路標識等	約1億8,900万円
路側式道路標識等の更新を行います。	
交通管制システム等	約2億1,400万円
システム機器の更新を行うほか、道路環境の変化等に応じた交通規制の見直し等を行います。	



交通安全対策の推進【重点取組】	約400万円
-----------------	--------

先端技術により導き出されたリスク値に基づき、最も効果的な通学路・生活道路等の交通安全対策を実施します。

「事故発生リスクAIアセスメント」サービスの導入



3 その他の主要事業

【警察本部 222-0110】

政策名、施策名及び事業の内容	担当課
<p>《政策名：防災・減災、県土の強靱化》</p> <p>〈施策名：（1-1）災害対応力の充実・強化〉</p> <p>ヘリコプター運用・維持事業 351,655千円 【(1-1-1) 県の災害即応体制の充実・強化】</p> <p>（第9款 警察費 第1項 警察管理費 3 装備費） 警察用航空機「航空すずか」が、令和6年度に法定点検を迎えるため、必要な整備を行うほか、新規操縦士候補者に対し、警察用航空機運航に必要な資格を取得させます。</p>	<p>警備第二課</p>
<p>《政策名：暮らしの安全》</p> <p>〈施策名：（3-1）犯罪に強いまちづくり〉</p> <p>車両等整備・管理事業 212,079千円 【(3-1-3) 警察活動を支える基盤の強化】</p> <p>（第9款 警察費 第1項 警察管理費 3 装備費） 捜査用車両等警察用車両の電動化を進めるほか、交通取締用四輪車、交通事故処理車等の更新に取り組みます。</p>	<p>会計課</p>